

令和5年度国土交通省・公共事業関係予算のポイント(概要)①

令和5年度予算編成の基本的な考え方

- 公共事業関係費については安定的に確保(6兆600億円、+26億円)。中でも、
 - **新技術を活用した老朽化対策の効率的実施**
 - **特定都市河川の指定などハード・ソフト一体となった流域治水対策や、先端的なデジタル技術を活用した洪水予測技術の開発加速などの総合的な取組**など、防災・減災、国土強靱化の取組を推進。

- 地域公共交通ネットワークの再構築に向けて、
 - **社会資本整備総合交付金における「地域公共交通再構築事業」の創設等による、鉄道設備やバス施設の更新など、地域の創意工夫を活かした取組の支援**
 - **エリア内交通ネットワークの利便性向上・効率化に向けた交通事業者のインセンティブを引き出すため、地方自治体が交通事業者に一定エリアの公共交通を一括して長期で運行委託(エリア一括協定運行)する場合への補助制度の創設**などを通じて、公共事業・非公共事業を組み合わせることで総合的・重点的に支援。

- 「海上保安能力強化に関する方針」(令和4年12月16日関係閣僚会議決定)に基づき、尖閣領海警備能力や広域海洋監視能力の強化などの海上保安能力を抜本的に強化。

令和5年度国土交通省・公共事業関係予算のポイント(概要)②

1. 新技術を活用した老朽化対策、ハード・ソフト一体となった防災・減災の取組

【新技術を活用した老朽化対策】



ドローンを活用した写真撮影により
橋梁の損傷を確認

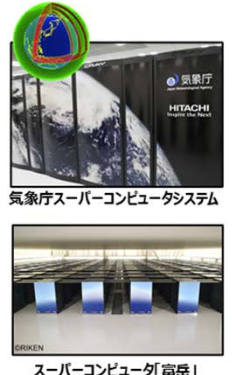
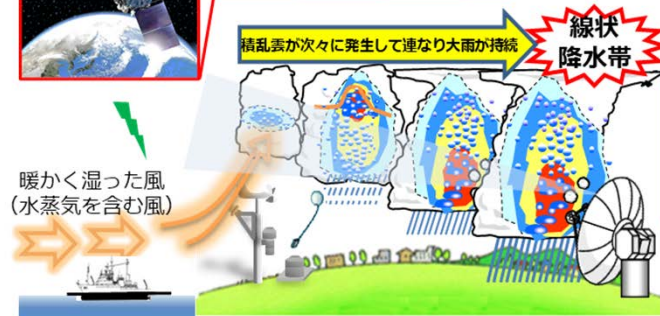


レーザー計測によりトンネルの
背面空洞や損傷を確認

【先端的な技術を活用した洪水予測技術の開発加速(観測・予測の強化)】



次期静止気象衛星の製作に着手し、
令和11年度の運用開始を目指す



スーパーコンピュータ「富岳」

観測能力を大幅に強化した次期静止気象衛星、アメダスへの湿度計の整備や最新のレーダーへの更新等による水蒸気観測等の強化とともに、気象庁スーパーコンピュータの強化や予測技術の開発等により予測を強化

2. 地域公共交通ネットワークの再構築

【地域公共交通再構築事業】(社会資本整備総合交付金)【新設】

鉄道(駅施設、線路設備、電路設備、信号保安設備等)やバスの関連施設(停留所・車庫・バスロケ施設・EVバス関連施設)の整備等を通じて利便性の向上、ネットワークの効率化・最適化を図る。



駅の新設・移設・改築



鉄道とBRTの連携



先進鉄道・バス車両の導入

(注) 車両導入については、交付金の効果促進事業や非公共事業により支援

3. 海上保安能力の抜本的強化

新たに取りまとめられた「海上保安能力強化に関する方針」に基づき、尖閣領海警備や広域海洋監視などの能力強化を一層推進



ヘリ搭載型巡視船(6,000トン)
R5年度就役2隻



無操縦者航空機
R5年度より
3機運用